

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

令和4年1月実施

回答 児童担当職員 6名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1	2	3	その日の受け入れ人数やひとりひとりの特性等を考慮すると基準以上のスペースが欲しい。特に長期休み中は利用児が密集することでケガや事故などの危険を感じる。また、生活介護事業と共有のスペースにおいては折り合いをつけながら活動できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	4	0	状況によっては、1対1の対応が必要な場合もあるためどちらとも言えないが、時間帯によって手薄になるときもある。また、職員の公休により少なく感じる日もある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	手すり、障がい者用トイレ等の設備のほか、段差やケガ等が起こりやすい場面においては職員が声かけや介助等を行っている。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	3	0	広く参画しているが、共有が不十分だと感じるときもある。また、職員の勤務体制によって、全ての話し合いに参加するのが難しく、情報共有が難しい場合もあるので、情報共有を徹底していきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	0	0	毎年アンケート調査を実施し、改善が必要な際は担当職員間で話し合いの場を設けている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	0	法人ホームページや通信等にて公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	1	第三者による外部評価は特別依頼してはしていないが、第三者委員は2名の方に依頼している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、研修に参加しており、事業所内においても定期的に内部研修を実施している。
適切 な	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	面談やアンケート、学校の支援計画、ひとりひとりの状況を基に担当職員間で話し合いながら作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4	0	標準化された知能・心理検査等を実施していないが、事業所独自の評価表を使用し適応行動状況把握に役立っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	1	0	毎月の職員会議にて話し合いながら決めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2	0	同上
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	2	0	ひとりひとりの支援計画を基に、それぞれの特性等を考慮しながら設定したり、必要に応じ手助けしながら支援している。

支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1	0	平日の利用時間は短く、なかなか計画通りのサービス提供が難しい場合もある。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1	0	毎月の職員会議において打合せ、職員間で共有している。また、なるべくその日の朝に何をするのか、役割分担等を担当職員に声がけするようにしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2	0	なかなか時間を設けることができないときもある。また、勤務体制により就業時間中に参加することが難しく、共有が不十分だと感じることがあるため、担当全員が共有できるような仕組みが必要。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	0	日々のケース記録、引継ぎノート等において、支援の検証・改善につなげている。また、小さな変化などについてもなるべく記録するよう心がけている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	0	基本的に面談やアンケート等により見直しながら作成している。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	1	0	ガイドラインに基づいた支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	0	基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	0	0	ご家族や学校とその都度連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	0	0	ご家族や担当の相談員を通じて連絡を取っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	0	0	相談員を通して引継ぎ事項を確認したり、自立支援協議会の際に情報共有をしている。また、利用児によってはサポートブックを共有することで情報共有できている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	1	0	担当の相談員に伝えたり、直接事業所のサービス管理責任者に情報提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	0	発達障がい者支援センターが主催する研修等に参加しており、必要に応じて連絡がとれる関係にある。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	2	3	コロナ禍のため、交流する機会はこちらから設定していない。ただ、公園などで他事業所の子どもたちと交流しようとする様子が見られるため、機会があれば積極的に参加していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	1	基本的に児童発達支援管理責任者が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	0	連絡帳や送迎の際に口頭で情報共有しており、その日の出来事や様子など保護者の方と話す際には伝えるようにしている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	1	3	現在、ペアレントトレーニングとしての取り組み等はしていないが、要望があれば対応していきたい。また、ペアレントトレーニングについて学びを深めたいと考えている職員もおり、今後研修等を通じて理解を深め、実践していきたい。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1	0	わかりやすい説明ができるよう心がけているつもりだが、まだ不十分な点が多いように感じている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	2	0	ご相談があれば適切な対応をしたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3	保護者会等は開催していないが、ご要望があれば検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	苦情受付においては、担当窓口を設置している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1	0	定期的に通信を発行しているが、家庭に配布するのが遅れてしまうことがある。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	0	0	ガイドラインに基づき、職員間で注意喚起している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	1	0	利用児に関しては、コミュニケーションカードなどを利用している。また、口頭で説明する際もわかりやすく伝えるよう心がけている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	2	コロナ禍にて、大きな行事等は開催できていない。また、その状況で地域の方と交流する機会を設定できていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	0	0	各種マニュアルは作成しており、更新した際は職員やご家族に周知している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	0	0	年2回の火災訓練、年1回の土砂災害等による避難訓練を実施している。また、発作や急な体調不良等が起こった想定での職員の動きも確認していきたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	0	0	事業所において虐待防止委員会を設置し、内部研修を実施するなど虐待防止に対する取り組みを行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1	0	当事業所において、基本的に身体拘束はしないが、緊急やむを得ない場合は事前にご家族に説明するようにしている。また、やむを得ない場合に利用児、職員自身の身を守る方法等も周知しておく必要があると考えている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	0	ご家族からの聞き取りを基に、必要があればアレルギー除去食を提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	0	ヒヤリハットはその都度積極的に記録し、事故防止に努めている。